

第10回米原市定例教育委員会

日 時：平成19年10月10日
9時05分開会
場 所：米原市役所山東庁舎
3階 第2委員会室

(出席者)教育委員：山岡委員長 堀田委員 松嶋委員 河居委員 瀬戸川教育長
教育委員会事務局：清水教育部長
教育総務課：馬淵課長 岩脇参事
学校教育課：安田課長
まなび推進課：桂田課長補佐
こども家庭課：安食課長 村田参事
書記：二之宮
(印については関係議案のみ出席)

1. 委員長あいさつ

山岡委員長よりあいさつ

2. 新任委員あいさつ

河居委員よりあいさつ

3. 事務局からの報告

教育総務課から報告

事務局より概要説明

委 員：10月12日に開催される市町教育委員会研修会の出発時刻は。

事 務 局：10時30分に山東庁舎出発予定である。

学校教育課から報告

事務局より概要説明

委 員：いぶき認定こども園に多方面から視察に来られると聞いたが、園業務へ影響は出ていないのか。受け入れする場合でも、園業務に支障が生じない時間帯

を指定するなど職員への配慮を考えていただきたい。

事務局：視察受入時の現地説明等は事務局で行なっており、現場職員の負担にならないように配慮している。

まなび推進課から報告

事務局より概要説明

委員：中学校が振替休日のときに、あいさつ運動が行われていたので、協力団体への周知等が必要でないか。

委員：あいさつ運動は全市民を対象に行なっている事業であり、あくまで中学生が対象の事業でないため、周知等を行なっていなかった。

委員：過去に米原野球場を県から土地を返還して欲しいとの申出があったが、そのような申出はないのか。

事務局：予定していた県の事業の建設地が彦根に変更となったと聞いている。

4．議題

議案第64号 米原市立図書館条例の一部を改正する条例について

事務局より概要説明

事務局：図書館協議会で、夜間の時間短縮で図書館職員の経費が削減される分を図書費等の経費に向けられればどうかという意見もでていた。

委員：今後の検討課題のひとつとして、山東図書館と近江図書館の管理を一体化し、図書館長は一人にする方向も考えている。目標としては、3月までには方針を決定したいと考えている。

委員：議会に、図書館運営のあり方について請願が出ていると聞いているが現在のところ継続審議案件となっているようであり、教育委員会としても十分に議論を重ねたうえで図書館運営のあり方について結論を出していきたいと考えている。

議案第65号 後援名義使用承認および共催について

2007年度「子育てと教育を語る湖北のつどい」

事務局より概要説明

委員：教育委員会として後援するにあたり問題ない事業か。

委員：直接来庁して後援依頼にきたのか。

事務局：学校教育課に郵送で依頼文が届いた。また、昨年度は同様の後援依頼でチラシの学校への配置のみを認めており、後援については不承認としている。

- 委員：仮に後援承認すると学校から児童生徒に配布される可能性もあるのでないか。
委員：学校から配布されると保護者の受け止め方に違いが出る。
委員：昨年度断りなしに学校からチラシが配布された事例があったため、校長に嚴重注意した。

後援不承認（チラシの学校への配置については許可）

第35回近江大菊花展

事務局より概要説明

- 委員：後援等名義使用様式の標題の「等」とは何を指すのか。
事務局：共催名義申請の様式も併用しているため「等」と記載している。
委員：共催と後援の違いはどこでわかるのか。
事務局：後援申請の様式については一度検討する。

後援承認

第3回伊吹山保全の日「山頂部保全区域の外来種&アカソ等の除去」「伊吹山ネイチャーサポーター」募集

後援承認

平成19年度米原市PTA研修会

- 委員：主催者は滋賀県PTA連絡協議会湖北ブロックと米原市PTA連絡協議会の二団体となるのか。
事務局：滋賀県PTA連絡協議会と米原市PTA連絡協議会の行事となる。
委員：今回は米原市のPTA連絡協議会のみでよいのか、滋賀県PTA連絡協議会湖北ブロックの後援は不要か。
事務局：一度確認する

5. その他

米原市における具体的な幼保一元化のあり方について

事務局より概要説明

- 委員：この答申（案）は検討委員会での最終的合意のうえで作成しているのか。
事務局：合意のうえで作成している。
委員：資料の中に各園の立てた計画を修正すると記載されているが、どの機関が修

正するのか。

事務局：事前の指導計画を実情に合わせて修正するということになる。

委員：修正という表現はおかしいのではないのか。

委員：改善という文言に訂正してはどうか。

委員：答申の内容を読ませていただき感じたのだが、幼児教育に対応できるよう職員の専門性を高めることが必要条件であり、そのために計画している教材研究、事例研究はよいが、具体的な時間確保しなければ、目指す効果もあがらないのではないのか。人員面での各園の実情を踏まえたうえで、来年度予算に向けて検討していただきたい。また、主管が市長部局となっているが、教育委員会としても指導主事を十分関与させて教育の充実確保をお願いしたい。

委員：答申（案）について教育委員会が意見を言う立場でないが、方針検討にあたっては教育委員会との連携を取りながら進めていただきたい。答申（案）の中で市長と教育長から諮問を受けたとされているが、両方から同じ諮問を受けたのか。

事務局：平成17年度の段階では教育長から諮問しており、その後の具体的な内容について市長より諮問された。

委員：移管された範囲を十分に認識しながら進めていただきたい。

委員：議会でも委員会を再編成し、教育委員会と福祉の委員会を合併してこの件について議論していく予定である。

学校訪問について

事務局より説明

委員：学校訪問のときの学校での準備物についての指示は出していないのか。

事務局：学校訪問の通知文である程度の指示はしている。

平成19年度市町教育委員会委員研修会

事務局より説明

教育部長会議の報告

事務局より説明

スポーツあり方検討会の報告

委員より説明

委員：プールがない学校では、水泳授業のため、学校からかなり離れたプールまで移動することになり、往復に要する時間は教育課程に影響が出てくるため、

その辺を考慮した施設計画を進めていただきたい。
授業時数の確保の上から課題が大きい。

今後の予定

- ・ 12月7日（金）校長教頭管理職と教育委員会との懇談会を開催予定
- ・ 次回定例教育委員会 11月13日（火）午後1時30分

以上をもって第10回定例教育委員会を11時30分に終了した。